

かながわ学校給食夢コンテスト「学校の献立」応募用紙

学校名・共同調理場名	山北町立川村小学校
(ふりがな)	あしかわ まゆみ
代表者氏名	芦川 真由美
応募部門	①か②のどちらかに○をつける <input checked="" type="radio"/> ①栄養バランス <input type="radio"/> ②地場産物

<p>献立名</p> <p>【ドレミの日献立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライカレーライス ・鶏のはちみつレモン焼き ・ファイバーサラダ ・牛乳 <p>※栄養価、作り方や材料等を別途添付してください。</p>	<p>写真</p> 
--	---

メニューについて書いてください(特徴、工夫したこと等)

1024年6月24日、イタリアの音楽教師がドレミで始まる音階を定めたことから、6月24日は「ドレミの日」に制定されている。そこで、6月24日に「ドレミの日献立」と題し、ドレミファソラシドから始まる料理や食材を組み合わせた献立を提供した。

- ド…ドライカレー
- レ…レモン(鶏肉のソースに使用)
- ミ…ミルク(牛乳)
- ファ…ファイバーサラダ(ファイバー＝食物繊維、食物繊維を多く含むごぼうなどを使ったサラダ)
- ソ…ソルト(塩)、またはソース(カレーの隠し味)
- ラ…ライス(飯)
- シ…しょうが(カレーの隠し味)

教材としての活用状況、学校での評価、児童生徒の感想や反応等

- ・献立表には「ドレミの日献立」とだけ記載していたので、気になって「どんな給食なの？」と聞きにくる児童がいた。
- ・当日はランチメール(別紙参照)で献立について紹介し、児童は放送を聞きながら「ソはなんだろう？」などと考えながら食べていた。食後、児童が「大豆は英語でソイだから、大豆も『ソ』になるね」と話していたなど、献立立案時に想定していなかった新たな気づきもあった。
- ・食事中に「♪ドレミのうた」を流し、コロナ禍の黙食でも楽しい給食時間となった。
- ・音楽との連携を考えて献立作成をしたが、身近なものの英単語の学習にもなった。
- ・国語や社会などの教科と連携した食育や献立は多くあるが、音楽との連携は少ないため、今後も授業で取り扱う楽曲などにも注目し、教科と連携した献立作成に取り組んでいきたい。